



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2021年7月号（第302号）

特集1

カーボンニュートラルの実現に向けて
企業・団体から事業・企画アイデアを募集します！

特集2

「化学物質の環境への排出量等」（2019年度分）について



「夏休み環境学習講座」の参加者を募集しています！
(P4)



「もりの学舎」夏の特別イベントを実施します！
(P5)



教材体験の様子
2020年度あいちの未来クリエイト部の教材を
紹介します（2）(P10)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」
Web ページは
こちらから



今月号とバックナンバーを掲載しています。

特集1

カーボンニュートラルの実現に向けて 企業・団体から事業・企画アイデアを募集します！



愛知県では、カーボンニュートラルの実現に向けて、「あいち地球温暖化防止戦略 2030」を加速し、新たな取組を具体化していくため、企業・団体の皆さんから温室効果ガスの排出削減や吸収に資する事業・企画アイデアを募集します。

1 募集する事業・企画アイデア

カーボンニュートラルの実現に資する具体的なプロジェクト案

2 応募対象 企業・団体

3 応募期限 随時受付

4 提出先 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県環境局地球温暖化対策課

提案されたアイデアのうち事業化すべきプロジェクトは、そのテーマに合わせた個別の研究会を立ち上げ、プロジェクトごとに事業化の支援を行います。

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/carbonneutralidea.html>)



【参考】

・カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出を全体としてゼロ（森林などによる吸収量を排出量から差し引いてゼロ）にすること

・あいち地球温暖化防止戦略 2030

地球温暖化対策推進法に基づき、本県の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に進めるために策定した「地方公共団体実行計画（区域施策編）」

（地球温暖化対策課 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン））

特集2

「化学物質の環境への排出量等」（2019年度分） についてお知らせします



私たちの生活は多くの化学物質によって支えられていますが、製造、使用、廃棄される過程で環境に排出され、人の健康や動植物などの生態系に悪い影響を与えてしまうものもあります。

このような化学物質の環境への排出を管理するため、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」及び「県民の生活環境の保全等に関する条例」（名古屋市は市条例）により、対象となる事業者は、法で定められた462種類の物質について、毎年、環境に排出される量や廃棄物に含まれる量を国に、取扱量を県（政令市・中核市は各市）に届け出ることが義務付けられています。

この度、県内の届出取扱量、届出排出量及び全排出量（届出対象外も含めて推計した量）の2019年度分を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

- 2019年度の届出取扱量、届出排出量、全排出量は、いずれも前年度と比較して減少しました。
- 2019年度の全排出量は、集計を開始した2001年度と比較して67.8%減少しました。
- 2019年度の届出取扱量に対する届出排出量の割合は、届出取扱量の集計を開始した2004年度の0.61%から0.27%に低下しており、事業者の排出抑制の取組が進んでいるものと考えられます。

県内排出量等（2019年度と2018年度との比較）

	届出 事業所数	届出取扱量 (トン/年)	届出排出量 (トン/年)	全排出量 (トン/年)
2019年度	1,910 件	3,687,632	9,910	21,329
2018年度	1,937 件	3,960,359	10,042	22,192
増減	△ 27 件	△ 6.9%	△ 1.3%	△ 3.9%

届出取扱量：事業者が自ら把握した、化学物質を製造又は使用した量
届出排出量：事業者が自ら把握した、環境中に排出された化学物質の量
全排出量：届出排出量と届出外排出量（届出対象外の事業者、家庭、自動車等からの推計排出量）の合計

（環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン））

環境保全関係功労者表彰式を開催しました



愛知県では、県民の環境保全意識を高め、快適な生活環境を保つことを目的として、県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった団体・個人に対して、毎年度、知事による表彰を行い、その功績をたたえています。

今年度は、3 団体及び 21 名の受賞者を決定し、6 月 2 日に県庁本庁舎正庁で表彰式を行いました。

大村知事から表彰状等の授与後、知事と来賓の坂田憲治県議会議長から、お祝いの言葉が贈られました。



上高湿地を守る会

主な活動：上高湿地における刈草除去や間伐、外来生物駆除のほか、湿地の重要性に関する啓発活動などの環境保全活動



劇団シンデレラ

主な活動：ミュージカルの公演を通して、環境・生き物の保護の重要性を伝えるなどの環境保全に関する啓発活動

表彰の区分と受賞者一覧（五十音順・敬称略）

3 団体・21 名

環境保全活動功労	(3 団体)
長年にわたり環境保全活動の推進に尽力	
○板山竹炭研究会（半田市）	
○上高湿地を守る会（豊田市）	
○劇団シンデレラ（一宮市）	
環境保全推進功労	(16 名)
長年にわたり県の環境保全行政の推進に寄与	
愛知県公害健康被害認定審査会委員等 (11 名)	
○磯谷 澄都（名古屋市）	
○井村 秀文（東京都）	
○岩 亨（名古屋市）	
○緒方 清人（知立市）	
○齊藤 毅（豊明市）	
○酒巻 史郎（名古屋市）	
○芝崎 正崇（名古屋市）	
○杉谷 健一郎（名古屋市）	
○戸丸 信弘（名古屋市）	
○松尾 直規（名古屋市）	
○吉田 光善（一宮市）	
鳥獣保護管理員	(2 名)
○鶴田 忠夫（豊田市）	
○平岩 丈義（額田郡幸田町）	
地域環境保全委員	(3 名)
○大里 健二（知立市）	
○清崎 孝子（西春日井郡豊山町）	
○富田 暁子（西春日井郡豊山町）	
環境保全行政従事功労	(4 名)
長年にわたり環境保全行政に従事	
○後藤 好美（北設広域事務組合）	
○東方 敏（豊川市）	
○水野 寿人（尾三衛生組合）	
○山本 征浩（豊橋市）	
環境衛生事業功労	(1 名)
長年にわたり環境衛生事業の推進に尽力	
○永野 卓司（(一社)愛知県浄化槽協会）	

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

「夏休み環境学習講座」の参加者を募集しています！



愛知県では、体験しながら環境の大切さについて楽しく学ぶことができる「夏休み環境学習講座」を開催します。

参加費は無料です。是非ご参加ください。

1 日程等

(1) あいち環境学習プラザ（名古屋市北区 愛知県環境調査センター内）で開催

日時	講座名(講師)
7月29日(木) 10:00~12:00 13:30~15:30	発電を体験してね！ ～ソーラーカーも作るよ～ (講師：愛知県地球温暖化防止活動推進員 則竹 昌幸)
7月30日(金) 10:00~12:00 13:30~15:30	くらしに役立つ生物のスゴ技を学ぼう！ ～ネイチャーテクノロジー～ (講師：日本技術士会 加藤 信夫)
8月4日(水) 10:00~12:00	飛ばそう、むささびライダー！ (講師：あいちecoティーチャー 大野 雅章)
8月4日(水) 13:30~15:30	切り紙でつくろう、昆虫標本 (講師：あいちecoティーチャー 大野 雅章)
8月10日(火) 10:00~12:00	どうなる？地球の未来 ～地球温暖化のおはなし～ (講師：あいちecoティーチャー 新谷 良英)
8月10日(火) 13:30~15:30	森の印刷屋さん (講師：あいちecoティーチャー 磯貝 はるみ)
8月12日(木) 10:00~12:00 13:30~15:30	ミニビオトープ講座 (講師：Bio Garden With 代表 宮田 賢輔)
8月13日(金) 10:00~12:00 13:30~15:30	風力発電機をつくってみよう！ (講師：日本技術士会 野本 健司)
8月20日(金) 10:00~12:00	ほんとはずごい！ミミズのヒミツ ～ミミズコンポストにちょう戦！～ (講師：インタープリター 祖父江 鈴子)
8月20日(金) 13:30~15:30	水のふしぎ ～水を楽しむ実験にわくわく！～ (講師：インタープリター 祖父江 鈴子)

(2) もりの学舎^{まなびや}（長久手市 愛・地球博記念公園内）で開催

日時	講座名(講師)
7月27日(火) 10:00~12:00	ハチ博士になろう！ (講師：もりの学舎インタープリター 守安 悠子)
7月27日(火) 13:30~15:30	チョウの標本をつくろう！ (講師：もりの学舎インタープリター 高橋 匡司)
8月5日(木) 10:00~12:00	森の芸術家 ～石や葉っぱで作品を！～ (講師：インタープリター 勢力 愛子)
8月5日(木) 13:30~15:30	森の万華鏡をつくろう！ ～世界でひとつの万華鏡～ (講師：インタープリター 勢力 愛子)
8月6日(金) 10:00~12:00 13:30~15:30	葉っぱ図鑑をつくろう！ (講師：もりの学舎インタープリター 宮脇 稔)

※講座は、天候などにより内容変更や中止になることがあります。

2 対象及び定員

小学生以上（小学生は保護者同伴）

※一部の講座は学年指定あり

定員 各回 10名又は20名（保護者を含む。）

3 申込方法

以下の①～④の内容を記載して、郵送、FAX、Eメールのいずれかにより、お申し込みください。申込用紙は「あいち環境学習プラザ」のWebページからダウンロードできます。

①希望の講座名 ②希望の日時

③代表者（保護者）の氏名（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス

④代表者（保護者）以外の参加者全員の氏名（フリガナ）・年齢（小・中学生の方は学年）

4 申込期限

7月9日（金）まで

※申込み多数の場合は抽選

※受講の可否は、申込書の代表者全員に7月19日（月）までに通知

5 申込先・問合せ先

あいち環境学習プラザ

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6

電話：052-908-5150 FAX：052-916-0516

Eメール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/plaza/>)



ほんとはずごい！ミミズのヒミツ
～ミミズコンポストにちょう戦！～



森の万華鏡をつくろう！
～世界でひとつの万華鏡～

※写真は昨年の様子



環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)



まなびや
「もりの学舎」夏の特別イベントを実施します！



愛知県では、愛・地球博記念公園（長久手市）内の「もりの学舎」で、夏の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。参加費は無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

1 おやこクラフト

(1) 開催日時

7月22日（木・祝）
10:30～12:00、13:30～15:00

(2) 対象、募集人数及び内容

小学生とその保護者 各回15名程度
（保護者1名につき小学生2名まで）
ペンキ缶を使って、焚き火台を作ります。

2 ちびっこクラフト

(1) 開催日時

7月23日（金・祝）
10:30～11:30、14:00～15:00

(2) 対象、募集人数及び内容

幼児（3～6歳）とその保護者 各回15名程度
（保護者1名につき幼児2名まで）
木の枝などの自然素材を使って森の生きものを作ります。

3 申込期間

6月29日（火）から定員に達するまで（先着順）

4 申込先・問合せ先

もりの学舎
電話：0561-61-2315 FAX：0561-61-2328
詳細はWebページをご覧ください。
（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/r3summer-craft.html>）



〔環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）〕

「油ヶ淵浄化デー」の一齐清掃活動にご参加ください！



油ヶ淵は、碧南市と安城市に広がる愛知県唯一の天然湖沼です。

油ヶ淵周辺の4市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）は、水質浄化に向けた地域の気運を盛り上げるため、毎年7月第4日曜日の「油ヶ淵浄化デー」に合わせて、油ヶ淵や流入する河川周辺の一齐清掃活動を実施しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止されましたが、一昨年は4市合計で4,087名もの方々にご参加いただき、1,170kgのゴミを回収しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、碧南市及び安城市で7月25日（日）に実施します。

また、この清掃活動等を通じて、永年にわたり地域の水環境保全に貢献された西尾信用金庫とリコー

ジャパン（株）愛知支社に対して、油ヶ淵水質浄化促進協議会（構成：愛知県、4市）から感謝状を贈呈します。

皆さんの清掃活動へのご参加をお待ちしています。

詳細はWebページをご覧ください。
（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2021jyoukaday.html>）



清掃活動の様子
（2019年）



「NPO たかはま」へ
感謝状贈呈
（2019年）

〔水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）〕

愛知県環境調査センター・愛知県衛生研究所の

ZEB (Nearly ZEB) の2020年度運用実績について



愛知県環境調査センター・愛知県衛生研究所本棟は、設計段階において2018年10月にZEB*(Net Zero Energy Building) 認証を取得して2020年4月に全面供用開始しました。

この度、2020年度のZEBの運用実績が取りまとめられましたので、ご紹介します。

* ZEBとは、自然エネルギーの積極的な活用や高効率な設備システムの導入等の省エネルギー技術と太陽光発電等の創エネルギー技術を組み合わせ、年間の一次エネルギー消費量(建物で使用される電力、ガスの量を合算して示すエネルギー量)の収支をゼロにすることを旨とした非住宅の建築物のことで、Nearly ZEBは、基準建築物と比べて一次エネルギー消費量を75%以上削減するものです。

1 ZEB 認証

建築物省エネルギー性能表示制度(通称「BELS (Building-Housing Energy-efficiency Labeling System) 」)において、建築物の運用にかかる評価項目、評価対象時間を定め、それぞれの一次エネルギー消費量を算出し、基準建築物における一次エネルギー消費量と比較して評価します。

愛知県環境調査センター・愛知県衛生研究所本棟は、建物の設計段階において一次エネルギー消費量の85%削減が認められ、公共施設で全国トップクラスのZEB (Nearly ZEB) の認証を取得しました。

2 2020年度運用実績

2020年4月の全面供用開始に伴い、太陽光発電設備の稼働が始まったことから、2020年度の運用実績を評価しました。



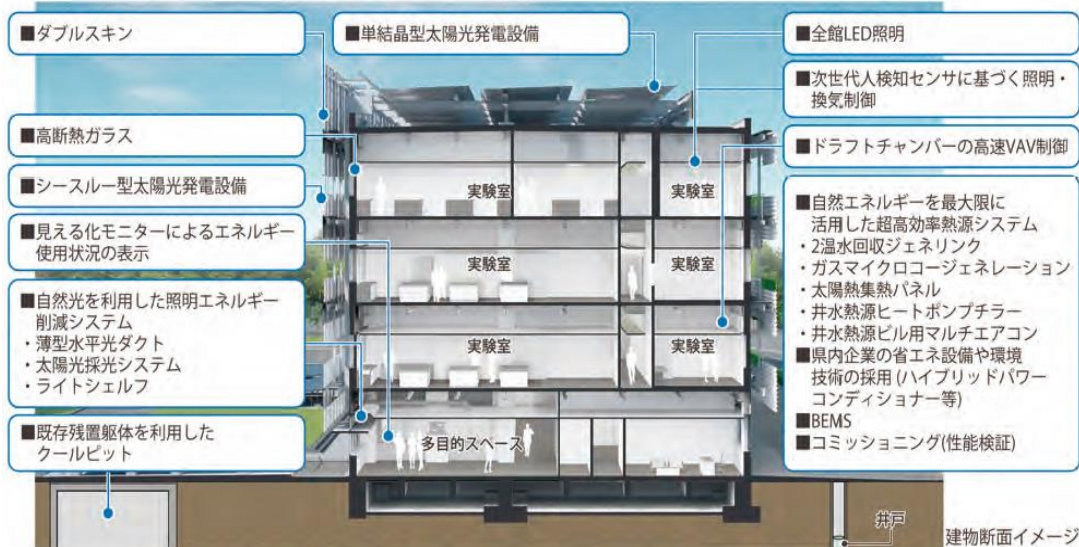
施設の外観

(1) BELS 評価におけるエネルギー消費量

BELS 評価における本棟の年間一次エネルギー消費量は、 $3,219 \text{ G} \cdot \text{J}^{*1}$ (熱量換算単位) であり、基準値 $9,652 \text{ GJ}$ に対して67%削減されるとともに、太陽光発電による31%の創エネにより、計画値(85%削減)を大幅に上回る計98%の削減となり、運用実績においてもNearly ZEBを達成していることが確認できました。

ZEBを支える新エネ・省エネ技術

ZEB(Nearly ZEB)として、様々な新エネ・省エネ技術を導入しています



その理由は、「高性能な人検知センサ^{※2}に基づく照明換気制御」、「クールピットによる地中熱利用^{※3}」等の省エネ技術により空調・換気・照明の省エネが想定以上となり、さらに、創エネ技術である太陽光発電量が計画を上回ったためと考えられます。

※1 エネルギー消費量を表す際の発熱量単位（1GJ=原油0.0258k1換算）

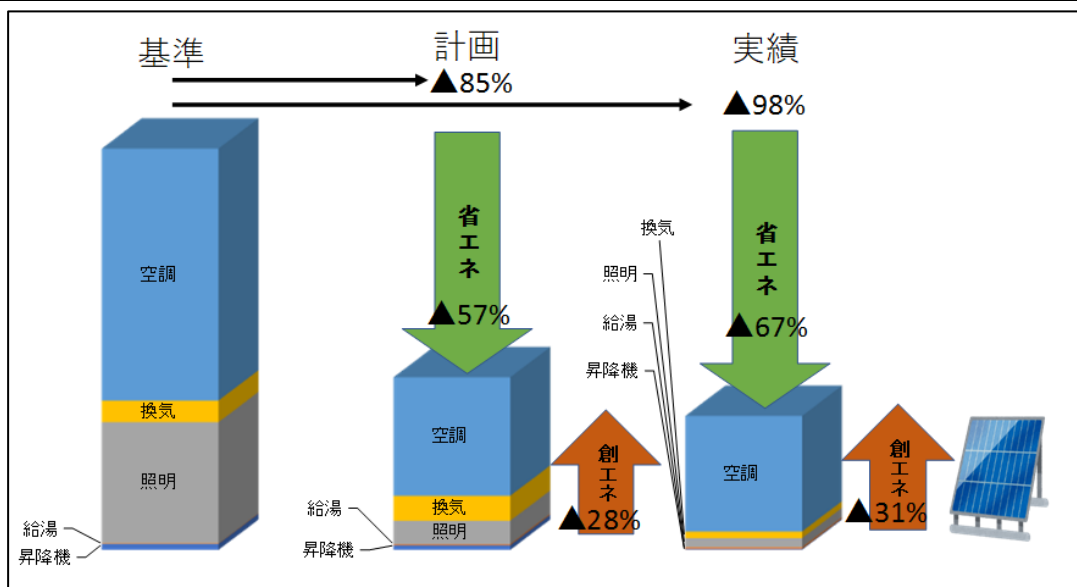
※2 人の在席状況を人の動作でなく、熱でリアルタイムに検知する次世代人検知センサ

※3 旧棟の地下躯体を一部残して、外気に比べ安定した温度の地中の空気を新棟内に取り込み、空調負荷を低減する設備

2020年度ZEBの達成状況

(単位：G^{キガジュール}J)

区分	項目	評価時間	基準値	計画値	実績値	計画値／基準値	実績値／基準値
省エネ	空調	平日の7:00~21:00	6,060	2,848	2,780	/	/
	換気		524	595	155		
	照明		2,915	562	226		
	給湯	1年間の全時間帯	14	25	37		
	昇降機	平日の7:00~21:00	139	111	20		
	計	-	9,652	4,141	3,219		
	削減率	-	-	-	-	△57%	△67%
創エネ	太陽光発電	1年間の全時間帯	(9,652)	2,783	3,078	0.288	0.319
	削減率	-	-	-	-	△28%	△31%
削減率合計		-	-	-	-	△85%	△98%



(2) 施設全体のエネルギー消費量

本棟のBELSの対象となっていない時間や調査研究のための分析機器、さらに別棟も含めた施設全体の年間一次エネルギー消費量は、15,514GJ（単位面積当たり：1.50GJ/m²）でした。

これは、リニューアル前の2017年度の消費量23,549GJ（単位面積当たり：2.40GJ/m²）に比べ34%（同：38%）の削減となりました。

3 今後の取組

今後も適切な施設管理により、ZEBの運用を行っていきます。また、環境調査センター内の「あいち環境学習プラザ」では、学校や団体の社会見学を積極的に受け入れており、施設に採用されている新エネ・省エネ技術やZEBの運用実績を紹介することで、ZEBの普及・啓発を行っていきます。

環境調査センター 総務課
電話 052-910-5485（ダイヤルイン）

「自動車エコ事業所」を募集します



愛知県では、エコカーの導入や公共交通機関の利用促進等の取組を積極的に実践し、「安心・快適な暮らしを支え、環境と自動車利用が調和した社会」の実現に大きく貢献している事業所を「自動車エコ事業所」として認定しています。

認定された事業所には、認定証や表示板をお渡しするとともに、県のWebページに掲載し、環境に配慮した事業所として広く紹介しますので、積極的にご応募ください。

1 対象

愛知県内の事業所（個人事業者を含む。）

2 認定方法

エコカーの導入や公共交通機関の利用促進等の取組状況について、あいち自動車環境戦略会議で審査し、認定基準を満たしている場合に同会議議長（愛知県知事）が認定します。

3 募集期間

7月1日（木）から9月30日（木）まで

4 応募方法

所定の申請書（下記Webページからダウンロード可）及び取組内容を証する書類を、持参又は郵送によりご提出ください。

5 その他

「自動車エコ事業所」の認定を受けると、社会的価値の実現に資する取組として、県が行う公契約の一部において評価される場合があります。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/2021ecojigyousyo.html>)



地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）

2021年度「あいちの未来クリエイト部」が始動しました



愛知県では、高校生が専門家等の支援を受けながら、地域の環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動を行っています。今年度は、右表の3グループが活動していきます。

「あいちの未来クリエイト部」の趣旨や具体的な活動スケジュールを知ってもらい、高校生が主体となって活動していくために、6月12日（土）にキックオフミーティングをオンラインで開催しました。各参加グループから自分たちのこれまでの活動について紹介した後、調査・研究でわかったことを人に伝える時に大切なこと等についての講義を受けました。その後、グループごとに調査・研究していくテーマの検討を行いました。

今後は、検討した内容を基に調査・研究を進めていきます。

2021年度参加グループ・テーマ（2021年6月現在）

参加グループ名	テーマ
愛知県立内海高等学校 ボランティア同好会	南知多町・美浜町の海岸清掃を通して考える持続可能な消費生活
愛知県立津島高等学校 自然科学部	知らせよう津島市の水辺の状況とそこに生きる生物たち ～メダカとカダヤシの関係～
愛知県立南陽高等学校 総合探究系列& Nanyo Company部	あなたはどうか考えますか？ ～高校生が提案する持続可能なかしこい選択～

活動の様子は「あいちの未来クリエイト部」公式Instagramで発信していきますので、是非ご覧ください。

(https://www.instagram.com/aichi_miraicreate/?hl=ja)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

1 平年値の更新と気温の変動について

「平年値」は、その時々々の気象（気温、降水量、日照時間等）や天候（冷夏、暖冬、少雨、多雨等）を評価する基準や、観測点の気候を表す指標値として用いられています。今月号では、2021年5月19日から使用されている、気温の新平年値(1991～2020年の平均値)について紹介します。

気象庁による発表では、気温の新平年値の特徴として、旧平年値（1981～2010年の平均値）と比較したとき、年平均気温は全国的に0.1～0.5℃、名古屋では0.4℃程度上昇したことを挙げています。

全国の年平均気温は、長期的に見ると徐々に上昇しており、特に1980年代後半から急速に上昇しています。この背景として、温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化や数十年周期の自然変動の影響、さらに地点によっては都市化も影響していると考察されています。

長期的な気温の上昇に伴い、名古屋の真夏日や猛暑日、熱帯夜の年間日数は増加しています。昼間だけでなく夜間の熱中症リスクも上昇していると考えられますので、就寝前の水分補給や適度なエアコン使用などの対策をして、熱中症に注意・警戒してください。

名古屋の真夏日・猛暑日・熱帯夜の年間日数

項目	年間日数（名古屋）		
	旧平年値	新平年値	差
真夏日	64.3	69.7	+5.4
猛暑日	11.5	15.0	+3.5
熱帯夜	19.4	25.6	+6.2

（気象庁のデータをもとに作表）

真夏日…日最高気温が30℃以上の日

猛暑日…日最高気温が35℃以上の日

熱帯夜…夜間の最低気温が25℃以上のこと

2 熱中症警戒アラート活用と予防行動（適応策）

今年度から、環境省と気象庁による「熱中症警戒アラート」の運用が全国的に始まりました。運用期間は、毎年4月の第4水曜日から10月の第4水曜日までで、愛知県内で熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境（暑さ指数（WBGT）の日最高値が33以上）が予測された場合、前日17時及び当日5時に県全域で熱中症警戒アラートを発表し、具体的な熱中症予防行動が示されます。

環境省のWebサイト「熱中症予防情報サイト」では、熱中症警戒アラートの発表状況だけでなく、WBGTについて、全国の観測地点での実況推定値や3時間ごとの予測値のほか、生活の場（駐車場、交差点、住宅地等）での参考値を確認することができます。また、熱中症の予防方法、対処方法など役立つ情報を得ることもできます。EメールやLINEによる配信サービスもあり、サイト内で登録方法が案内されているので、ご活用ください。

県民の皆さんも、自分に合った情報収集手段を見つけ、普段から熱中症の予防に努めるとともに、熱中症警戒アラート発表時には、適切な熱中症予防行動をとれるようにしましょう。



環境省 熱中症
予防情報サイト
(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)



環境省・気象庁
熱中症警戒アラート（ポスター）

環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

連載 2020年度あいちの未来クリエイト部の 教材を紹介します(2)



6月号から3回にわたり、昨年度「あいちの未来クリエイト部」に参加した3グループが作成した教材を紹介しています。

2回目となる今回は、「愛知県立佐屋高等学校 科学部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

愛知県立佐屋高等学校 科学部の皆さんは、校内の有機栽培水田に食害をもたらす外来種スクミリンゴガイ(通称 ジャンボタニシ)の生態やその防除の方法、有機栽培水田の生物相の調査・研究に取り組みました。水槽内のスクミリンゴガイの観察によって食べ物や産卵の様子がわかりました。また、水田内での調査では、卵塊の発生量やスクミリンゴガイの移動距離、捕獲に効果のある誘引剤、有機栽培水田内の生きものについて明らかになりました。



捕獲トラップを設置する様子



ワークシート「田んぼ迷路・みつけ」

教材作成では、スクミリンゴガイの生態や水田の被害について理解し問題を知ってほしい、水田にいる生きものを知り親しみを持ってほしい、という想いでワークシート「田んぼ迷路・みつけ」を作成しました。ワークシートは春の水田・夏の水田の2種類があり、迷路を解いたり、生きものを探して数を数える等の指令に従ったり、楽しく遊びながら、春と夏の水田の生きものの様子の違いや、スクミリンゴガイの生態を知り、なぜスクミリンゴガイが発生しているのかといった問題についても考えることができます。

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材が作成され、全て貸出しを行っていますので、是非ご利用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2021年7月5日発行(第302号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記
先日、引越しの折にエアコンを購入しました。「省エネ性能★5にする!」と意気込んで店頭に向かったところ、想像以上の価格の高さに挫けそうになりましたが、機種毎の電気代の目安が示されていたおかげで10年間使用した場合の総コストで比較・検討できました。結果、狙いどおり★5で、しかもAI機能付きの最新機種を購入できたので、どんな働きをしてくれるのか今夏のおうち時間がとても楽しみです。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。